

第44回 長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

平成30年4月 発行

特別調査 経営者の健康管理と事業の継続について

長岡信用金庫 総合企画部
TEL(0258)36-4344

【実績】平成29年10月～平成30年3月

<http://www.nagaoka-shinkin.com/>

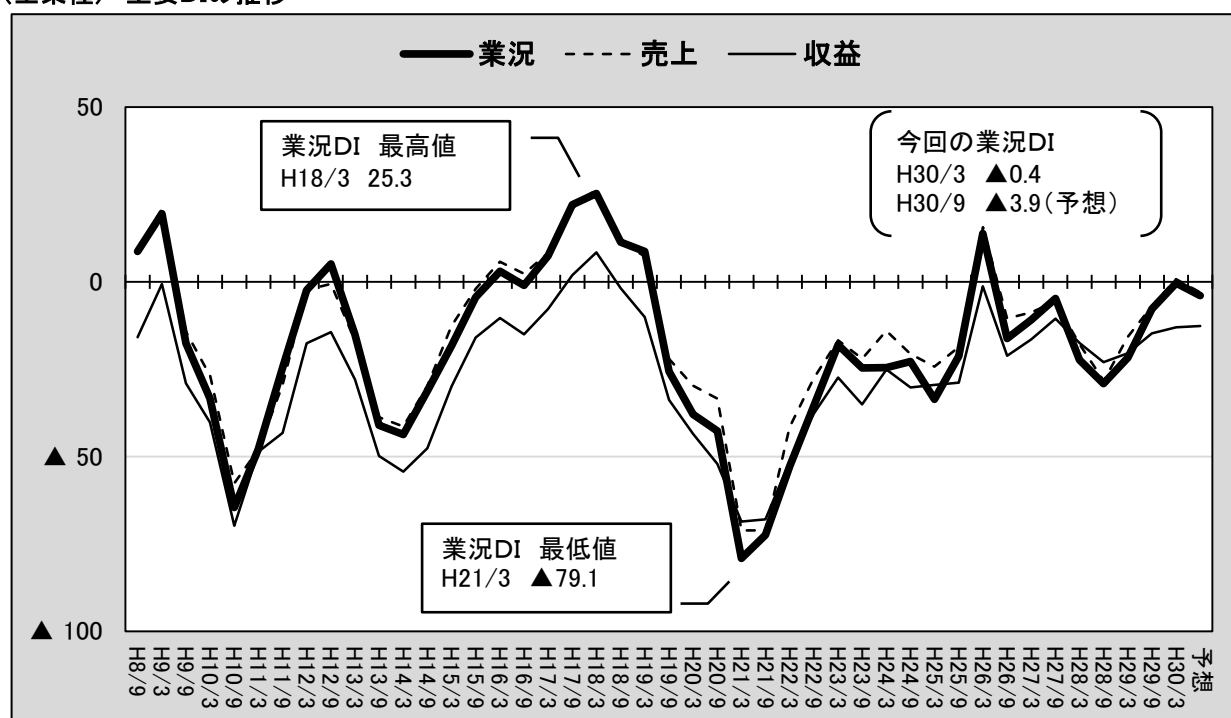
【予想】平成30年4月～平成30年9月

業況、売上、収益ともに改善。
製造業の実績は、改善と回答した先が悪化と回答した先を上回る。
調査先の社長(代表者)の9割超は、毎年健康診断を受けている。

(全業種) 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 7.8	7.4 (改善)	▲ 0.4	-3.5 (悪化)	▲ 3.9
売上	▲ 6.9	7.7 (改善)	0.8	-3.8 (悪化)	▲ 3.0
仕入価格	25.9	12.6 (悪化)	38.5	-5.7 (改善)	32.8
販売価格	▲ 0.8	7.7 (改善)	6.9	-4.8 (悪化)	2.1
収益	▲ 14.7	1.7 (改善)	▲ 13.0	0.4 (横這)	▲ 12.6
在庫	3.2	2.4 (悪化)	5.6	-4.2 (改善)	1.4
受注残高	▲ 3.3	7.5 (改善)	4.2	-7.0 (悪化)	▲ 2.8
資金繰り	▲ 5.6	-2.6 (悪化)	▲ 8.2	-0.4 (横這)	▲ 8.6
人手	▲ 33.9	-7.1 (悪化)	▲ 41.0	-1.3 (悪化)	▲ 42.3
設備状況	▲ 10.9	1.3 (改善)	▲ 9.6	-0.9 (横這)	▲ 10.5

(全業種) 主要DIの推移



(業種別) 前回、今回、予想の比較

(製造業)

・業況、売上、収益ともに改善。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	7.8	12.2 (改善)	20.0	-8.9 (悪化)	11.1
売上	▲ 3.3	19.9 (改善)	16.6	-12.2 (悪化)	4.4
収益	▲ 5.5	12.1 (改善)	6.6	-8.8 (悪化)	▲ 2.2

(建設業)

・業況は改善。予想は収益が改善の見込み。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 9.4	1.9 (改善)	▲ 7.5	-17.0 (悪化)	▲ 24.5
売上	▲ 5.6	-7.6 (悪化)	▲ 13.2	0.0 (横這)	▲ 13.2
収益	▲ 18.8	-11.3 (悪化)	▲ 30.1	5.6 (改善)	▲ 24.5

(卸売業)

・業況、収益は改善。予想はいずれも改善の見込み。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 31.5	5.2 (改善)	▲ 26.3	15.8 (改善)	▲ 10.5
売上	▲ 10.5	-5.2 (悪化)	▲ 15.7	15.7 (改善)	0.0
収益	▲ 31.5	15.8 (改善)	▲ 15.7	10.5 (改善)	▲ 5.2

(小売業)

・売上は改善。予想は業況、売上が改善の見込み。

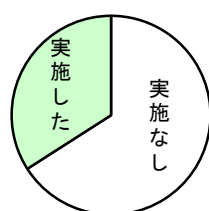
	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 27.5	0.0 (横這)	▲ 27.5	24.1 (改善)	▲ 3.4
売上	▲ 20.6	17.2 (改善)	▲ 3.4	6.8 (改善)	3.4
収益	▲ 27.5	0.0 (横這)	▲ 27.5	0.0 (横這)	▲ 27.5

(その他)

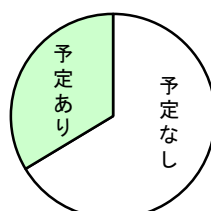
・業況は改善。予想は収益が改善の見込み。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 12.8	7.7 (改善)	▲ 5.1	-2.5 (悪化)	▲ 7.6
売上	▲ 5.1	0.0 (横這)	▲ 5.1	-7.7 (悪化)	▲ 12.8
収益	▲ 12.8	-10.2 (悪化)	▲ 23.0	10.2 (改善)	▲ 12.8

(全業種) 設備投資の実施と予定

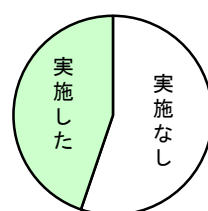


実施した
34.0%

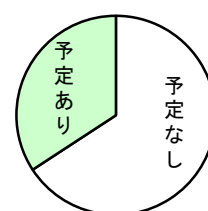


予定あり
33.6%

(全業種) 借入の実施と予定



実施した
44.7%



予定あり
34.2%

(業種別) 経営上の問題点について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	16.0%	13.3%	14.7%	20.3%	18.6%	20.2%
人手不足	15.9%	16.0%	19.1%		13.3%	20.2%
同業者間の競争激化			13.9%	12.9%	13.3%	9.5%
利幅の縮小	9.9%			14.8%		9.5%
材料価格の上昇		9.7%				
取引先の減少					13.3%	

(業種別) 当面の重点施策について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	17.6%	15.7%	14.6%	25.0%	20.8%	20.4%
経費を削減する	16.1%		16.9%	20.8%	20.8%	
情報力を強化する				14.5%		20.4%
人材を確保する	18.9%	20.1%	22.3%		17.9%	17.3%
技術力を強化する		16.6%				

(業種別) 調査員のコメント

(製造業)

- ・東京オリンピック前需要により、関東地区を中心としたホテル、テナント工事の受注が安定推移している。
- ・主力受注先からの増産要請に対応すべく機械増設。製造業界の活況と金属価格の高騰で売上は大幅に改善。
- ・取引先がネットショッピングを行うこととなり、当社のシステムとの連携を構築中。
- ・ジェグテックに登録し新たな受注先確保を目指している。
- ・営業、受注、工程管理、生産機能等、代表に業務集中している。一部権限を従業員への委譲を検討中。
- ・労働生産性が低く、従業員の意識も低いことより収益性の改善が図れない。今後は専門家派遣等活用し改善をしていきたい。

(建設業)

- ・官民の工事受注が増加し売上アップにつながった。現場従業員の高齢化が課題で若い人材確保に努めている。
- ・冬場売上減少も大雪の影響で除雪による売上が増加。春以降は小口ながらリフォーム工事を見込んでいる。
- ・建築塗装に加え、低調であった機械塗装においても回復傾向にあり売上増加。従業員確保と事業承継が課題。
- ・メイン先からの関係良好であり受注堅調。大雪の影響で工期が延びており、春先の各現場の工程にしわ寄せがきている。

(卸売業・小売業)

- ・葬祭関連での受注は一定量安定推移するも利幅減少傾向。新規事業展開(移動販売)にて利益確保を目指す。
- ・他社では取り扱いできないブランドの取り扱いが順調に推移して収益改善につながっている。
- ・同業他社と競争激しく利幅確保が難しい。今後、外部講師を招き営業力の強化を図る。
- ・販売価格が大きく変動しない群馬、東北地方への販売にて確保していた利益もメーカーとの競合が強くなり、価格競争が激化している。

(その他)

- ・時間制コインパーキングの増加や通勤用月極駐車場の利用者がコインパーキング利用へ転向する人が増え、仲介、管理手数料収入の減少につながっている。
- ・米販売が主力。魚沼産コシヒカリが格付ダウンした影響で、今後の業況に不安を抱えている
- ・外国人就労者を検討しており、アパートのニーズが高まるかもしれない。
- ・HP開設し、物販強化を図っており各種商談会に参加する等意欲的に取り組んでいる。
- ・仕事が趣味という代表者の性格は過労気味にも結び付いており、健康管理面では今後改善が必要。
- ・代表は健康に十分注意しており、ウォーキングやゴルフ等体力維持にも努めている。
- ・他社との差別化を図るため、今後スマホ決済等スマホを使ったサービス導入を検討している。

特別調査 経営者の健康管理と事業の継続について

問1

貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。下記の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、現在の社長（代表者）は何代目ですか。下記の6～0の中から1つ選んでお答え下さい。

1. 20歳代、30歳代	4.7%	6. 創業者	20.1%
2. 40歳代	22.6%	7. 2代目	49.5%
3. 50歳代	24.3%	8. 3代目	22.8%
4. 60歳代	30.4%	9. 4代目	5.2%
5. 70歳以上	17.8%	0. 5代目以上	2.1%

問2

健全な経営のためには、社長（代表者）の健康管理が大切です。社長（代表者）の先月の労働時間（経営に費やした時間）は、1週間あたりになるとどの程度ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、健康診断をどの程度の頻度で受けていますか。下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

1. 40時間未満	11.7%	6. 1年に1回以上	93.0%
2. 40時間以上60時間未満	55.4%	7. 2～4年に1回	5.2%
3. 60時間以上80時間未満	26.6%	8. 5～10年に1回	0.4%
4. 80時間以上100時間未満	5.6%	9. 10年以上受けていない	1.3%
5. 100時間以上	0.4%	0. 受けたことがない	0.0%

問3

仮に今、社長（代表者）の方がケガや病気等で1ヵ月間の休養を余儀なくされたとします。貴社では、どの程度の業務継続が可能ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、休養中に特に心配される貴社の機能の低下や悪化はどのようなものですか。6～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

1. 通常通りの業務継続が可能	63.3%	6. 営業機能や販売機能の低下	40.7%
2. 主要業務に限り継続可能	24.4%	7. 生産機能や仕入機能の低下	12.3%
3. 大幅に業務を縮小した上で継続可能	5.2%	8. 資金繰りの悪化	5.3%
4. 業務継続は不可能（休業、廃業）	2.6%	9. わからない	16.3%
5. わからない	4.3%	0. 心配していない	25.2%

問4

問3に続いて、社長（代表者）の方がケガや病気等で1ヵ月間の休養を余儀なくされたとします。貴社には、休養中の社長（代表者）の事業を代行できる人がいますか。1～0の中から1つ、最も当てはまるものを選んでお答えください。

1. 配偶者	14.3%	6. 販売先・仕入先	0.8%
2. 子供	20.4%	7. 同業他社	0.0%
3. 親	10.0%	8. その他（ ）	0.8%
4. 親族（上記1～3以外）	8.6%	9. 自分の代わりはいない	6.5%
5. 役員・従業員（親族以外）	36.9%	0. 休廃業するから代わりは必要ない	1.3%

問5

社長（代表者）にお尋ねします。あなたのストレス解消法は何ですか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 仕事における達成感	13.6%	6. 睡眠	12.8%
2. 社内での余暇活動（社員旅行等）	0.1%	7. 運動・スポーツ	14.7%
3. 家族とのふれあい	16.3%	8. 趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）	17.3%
4. 地域活動、団体活動、ボランティア活動等	3.1%	9. その他（ ）	2.1%
5. 飲食	18.1%	0. ストレス解消法はない	1.3%

調査要領

調査時点：平成30年3月

調査方法：当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査

対象期間：【実績】平成29年10月～平成30年3月 【予想】平成30年4月～平成30年9月

調査地域：当金庫営業地域（長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市）

調査先：230先（回収率100.0%）

分析方法：各質問項目で「増加」（上昇）したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」（下降）したとする企業の構成比との差（判断D.I.）を中心にして分析を行った。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。